

4/5 (日) 市民の生命と財産を守るために伊達市消防団辞令交付式  
保原市民センター ceremony

火 災や災害などに備えるため、日々訓練を続ける伊達市消防団。式では須田市長から熊田祐一消防団長へ辞令の交付を行い、続けて団長から昇任者や新入団員へ辞令が交付されました。新入団員を代表して、木村祐介さん（伊達支団）が宣誓を行いました。須田市長は「この度の異動により、新しい体制となります。消防精神を堅持するとともに、



技術の習得、訓練に励まれ、災害時には市民の負託に応えていただきますようお願いいたします」とあいさつしました。

4/12 (日) 強風にも負けない！伊達ももの里マソン大会  
保原地域 sports

今年で64回目の開催を迎えた本大会。市内外から2,085人のランナーが参加しました。田んぼや桜並木を見ながら走るコースもあり、伊達市の自然が感じられる大会です。親子の部では元気いっぱい走る子どもたちの姿が見られ、たくさんの人に元気をあたえてくれました。また、10キロメートルのコースでは、



アニメのキャラクターや小道具を持って走る参加者も見られ、沿道で応援する人も楽しめるイベントとなりました。

3/27 (金) 市の国際化に大きく貢献イボヌ国際交流員退任式  
伊達市役所 ceremony

伊 達市国際交流員を1年7カ月務めたイボヌ・タカハシさんの退任式を行いました。イボヌさんは、認定こども園での英語体験や市民向け英語教室、外国人向け日本語教室などを行いました。また、持ち前の明るさで子どもたちにも人気があり、国際交流イベント事業などで大きく貢献しました。イボヌさんは「私と関わっていた皆さんに『英語は面白い』『異文化は楽しい』と思っただけいたら大成功です！ありがとうございました」と述べました。



た皆さんに『英語は面白い』『異文化は楽しい』と思っただけいたら大成功です！ありがとうございました」と述べました。

4/3 (金) 安全に暮らせる地域を守るため春の交通安全運動出動式を開催  
伊達警察署 ceremony

生 活環境が変わる春の季節、交通事故防止を徹底するため、出動式が行われました。伊達地区交通安全協会の菅野宇一会長は「昨年にも増して、交通安全活動に取り組んでまいります」と述べ、伊達市交通対策協議会の会長を務める須田市長は「伊達市の将来を担う子どもたちが悲惨な事故にあわないためにも、市民一人一人の交通安全意識を高める運動を進めなければならないと考えております」とあいさつしました。



も、市民一人一人の交通安全意識を高める運動を進めなければならないと考えております」とあいさつしました。

3/23 (月) スマート農業を身近に福島県知事と市長が意見交換  
伊達市内 visit

伊 達市霊山町山戸地区を訪問した内堀雅雄福島県知事は、イチゴ生産者の菅野慎一さんのほ場で「データ駆動型スマート農業」を視察しました。この取り組みは、生産者が減少しても収量を増やし、市全体の総生産量を確保しながら品質も向上させる新しい農業を目指すものです。内堀知事は「データ



管理と分析によって農業のレベルが向上し、若い人が積極的に取り組むことができますね」と期待を寄せました。

3/27 (金) 農業の担い手不足解消のためにデータ駆動型スマート農業報告会  
伊達市役所 report

儲 かる農業の実現に向けた市の実践事例や実際に環境測定装置を設置した生産者からの取り組み報告がありました。高知大学IoP共創センターの岡林俊宏講師から、データ駆動型スマート農業の可能性についてのお話があり、越智史雄さんからは、伊達市で収集した生育データの分析結果が報告されました。参加者からは、「スマート



農業の話は少し難しいかと思いましたが、具体的な実践例を聞くことでとても分かりやすかったです」との声がありました。

3/10 (火) ファミリーパークだておかげさまで30万人達成！  
ファミリーパークだて ceremony

伊 達屋内運動場「ファミリーパークだて」で利用者30万人達成を記念したセレモニーが開催されました。平成30年3月のオープン以降、市内外から多くの子どもたちに利用いただいており、この度、30万人目となった福島市在住の佐藤佑さんに認定書と記念品が贈られました。「たくさん利用させていただいていま



す。お兄ちゃんも一緒に家族で利用しており、遊び場の三輪車や電車などの乗り物が大好きです」とうれしそうでした。

3/19 (木) 新入学児童の安全を願い黄色い帽子を贈呈いただきました  
伊達市役所 ceremony

明 るい社会づくり運動福島・伊達・二本松地区協議会が、伊達市内の新入学児童366人に黄色い帽子の寄贈を行いました。桜田葉子会長は「明るい社会づくり運動は、入学する子どもたちが元気に安全に通学し、未来に向かって活動してほしいという想いで黄色い帽子を贈呈しています」とあいさつされました。須田市長は、「黄色い帽子をかぶって元気に登校することで、ドライバーにも交通安全を再認識していただいております」と御礼しました。



い帽子をかぶって元気に登校することで、ドライバーにも交通安全を再認識していただいております」と御礼しました。

